

化学小説
5話連続

人生は化学式。

4話・はじめての化粧品



「ねえー見て見てー！これ買ったよー！」
朝、学校に行くと、友達が目を輝かせながら話しかけてきた。
「…よかったですね」

私はこれまで、誰の前でも常に冷静な態度を保ってきたが、あの彼と出会ってから、少しずつ何かが変わり始めていた。
「あそっか、化粧品とか、あまり興味ないんだっけ？」

「…いえ…化粧品ぐらいは
「あれっ？今まで何もしてなかったよねえ？何かあった？
もしかして…恋でもしちゃった？」

「いいえいえーこれはその…か、化学的な興味です」
「どういうこと？」

「実は、化粧品を扱っているのは化粧品会社だけ
じゃないんです。例えば化学会社でも材料を開発
して、ピタミンEを水に溶けやすくしたTPNa
などは基礎化粧品に配合されキレイな肌を
保ちたい女性たちに今注目されているんです」

「だから気になる人がいて使い始めたよ」
「そういうこと…って、あっ！違うっつては！」
気がつく私はまだ、冷静を保てなくなっていた。

化学の子カラで夢を具体化。

SHOWA
DENKO

具体化